

第3章 第3期計画の基本的な考え方

1 基本理念

2 計画の体系

1 基本理念

全ての市民が健やかでこころ豊かに生活できるまち

～みんなで目指そう 笑顔ひろがる 健康かたの～

近年の急速な少子高齢化の進展や疾病構造の変化により、外出や運動の機会の減少、食生活の乱れなどによる健康への影響や健康格差の拡大が懸念されています。いつまでも住み慣れた地域で、心身ともに健やかでいきいきと暮らすために、市民一人ひとりが自分の健康に関心を持ち、正しい生活習慣や正しい食習慣を実践し、健康づくり及び食育に自発的に取り組むことのできる環境づくりが重要です。市民一人ひとりと地域、関係団体、行政が協働して市民の健康づくりに取り組むことが重要です。

本市では、「全ての市民が健やかでこころ豊かに生活できるまち～みんなで目指そう 笑顔ひろがる 健康かたの～」の実現を目指し、健康寿命の延伸と健康格差の縮小に向け、健康・食育分野におけるライフステージごとの取り組みや地域全体で健康づくりに取り組む環境整備などを推進します。

健康寿命については第2期計画においても順調に改善し、令和4年（2022年）の健康寿命は男性が81.6歳、女性が85.9歳となっており、大阪府下43市町村中、男性は5位、女性は2位と、男女ともに大阪府より高い水準で推移しています。引き続き第3期計画においても健康寿命の延伸を目指します。

【計画の数値目標】

	指標			現状値 (交野市)	現状値 (大阪府)	目標値 (令和18年度)
1	健康寿命の 延伸	健康 寿命	男性	81.6歳	78.74歳	平均寿命の増加分を 上回る健康寿命の増加
			女性	85.9歳	83.46歳	
		平均 寿命	男性	83.0歳	80.37歳	
			女性	88.7歳	86.93歳	
2	「健やかな毎日を送っている」 と思う市民の割合			91.3%	—	増加

※平均寿命と健康寿命との差は、日常生活に制限のある期間(不健康な期間)を意味します。

2 計画の体系



